

## 総務生活分科会委員長報告

去る9月12日の予算決算常任委員会において、総務生活分科会に分担されました案件について、9月13日及び14日に総務生活分科会を開催し、慎重に審査を行いましたので、その審査の経過についてご報告申し上げます。

本分科会に分担されました案件は、認定第1号中総務生活分科会所管事項であります。

なお、13日に、現地調査として、国際交流協会の役員と国際交流の現状と課題についての意見交換を行いました。

審査経過の主な内容につきましては、次のとおりであります。

認定第1号 平成27年度鹿嶋市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について、まず、平成27年度の事業評価に関して、抽出された3事業の評価を行いました。財政事務経費については、ふるさと納税が寄附金額よりも所得控除された市民税の方が上回っていることについて、返礼品の独自性の開拓について、返礼品の実績の分析、ふるさと納税担当課の実情、行政委員経費については、区の状態を行政はどこまで把握しているのか、区の加入率の推移について、年々加入率が低下している分析はしているのか、行政区でカバーしていないエリアはあるのか、地区ごとの加入率はわかるのか、地域づくり経費、行政委員の任期について、自治会への加入のPR方法、国際交流関係事業については、行政の役割、補助団体への間接補助について、親善都市交流の予算計画について質疑がありました。

それぞれの案件について活発な論議がなされ、慎重な審査を行った結果、財政事務経費については、「拡充」、行政委員経費については、「継続」、国際交流関係事業については、「継続」と評価する旨の分科会評価報告書を添えてあります。

続いて、主要となる事務事業について、それぞれ説明を受け質疑を行いました。宮中地区賑わい創出事業のこれまでの経緯と執行体制のあり方、地域情報発信事業のFMかしまの経営状況と施設整備の状況、総合戦略推進事業の空家等実態調査、ホームタウン推進事業の内容、公共交通対策事業の運行経路の見直しサイク

ル、環境衛生対策事業の計画、まちづくり振興基金積立金の充当事業の考え方、職員研修費の職員提案研修、接遇研修、賦課事務経費の航空写真委託、徴収事務経費の差押えの増加の背景、男女共同参画推進事業の事業実施の仕方、国際交流関係事業の会場借上料の内容、市民参加のまちづくり事業の予算及び決算差額について、公害対策経費の排水調査内容、土砂対策経費の執行率、ドローンの活用方法、防犯灯管理経費の修繕費単価、LED計画について、災害対策経費の災害非常用井戸と備蓄用倉庫設置実績、墓地管理費の墓地の今後の管理運営に関して活発な質疑と意見交換がありました。

以上が、本分科会に分担されました案件についての審査の経過であります。